当院における看護部職員の負担軽減及び処遇の改善について

１　業務量の調整について

・患者さんの重症度を勘案した看護師・看護補助者（介護職員の配置を行います。
・ケアサポートセットの見直しを行います。

２　多職種との業務分担について

・看護補助者（介護職員）は、食事介助や排泄、入浴介助、環境の整備などの生活支援もお手伝いします。
・看護補助者（介護職員）も夜勤を実施し、患者さんのケアを行います。
・薬剤部は持参薬の確認や、処方薬・注射薬の管理を行います。
・移動が困難な患者さんについては、病室でできる検査を病室で行います。

３　看護補助者（その他）

・病棟ラウンドして、書類や中材物品、薬剤の運搬を行います。
・配茶等、食事の援助を行います。

４　働く環境の整備

・妊娠・子育て中・介護中の看護部職員に、休暇の取得をしやすく配慮し、働く場所、夜勤などの配慮をします。
・夜勤者の負担軽減のために、夜勤回数の上限を設定し、また、勤務間隔を１１時間としてインターバルを確保します。
・看護部職員の連続休暇の確保や、年次休暇５日以上の取得を実施します。

５　看護部職員の確保

・看護職員の募集活動や、病院見学を積極的に行い、職員の確保に努めます。
・看護部職員の離職防止に、努力します。

八雲町熊石国民健康保険病院